

江府町  
地域おこし協力隊  
通信

今月号は9名の江府町地域おこし協力隊員のうち、5名の隊員の活動を紹介します。秋が深まる中、隊員たちはどんな活動をしているのでしょうか。気になるところ、ぜひご覧ください。

今月号のテーマ  
「学び多き秋」

新甘泉（梨）マネージャー（活動内容：新甘泉の栽培技術の習得、梨園の管理など）



ふくしま すくる  
福島 優

梨の収穫も終わり、少しだけ落ち着いたのも束の間、今は稲刈りに蕎麦刈りにと町内を目まぐるしく走り回っています。梨の栽培どころか農業経験がない自分にはわからない事だらけで何をすることも教えていただいたり勉強したりの日々。どうにか今年の収穫は終わりましたが、やはり反省点もありこの経験は来年に活かさなければと思います。



▲収穫前の梨の様子

奥大山ブランド推進コーディネーター（活動内容：奥大山ブランド商品の発掘、開発支援など）



やまだ あさひ  
山田 朝陽

私の本業である奥大山ブランドの第2回の審査も終わり、順調な毎日を過ごしております。他にもサイクル事業など様々な取り組みを現在行っているため少しずつ忙しくなってきましたが、いつも通り元気いっぱい頑張っていきたいです。また、急激に寒くなってきたので体調管理も心掛けていきたいです。



▲奥大山ブランド商品

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）



あんどう のぞみ  
安藤 希

日々の生活とともに流れ、江府町ってこんな所なんだ、こんな人との繋がりがあると感じています。月1回のおはなし会では、スタッフの協力を得て、英語と日本語でペープサート（紙の人形劇）をし、子ども達と一緒に楽しむことが出来ました。バス待ちの小学生の顔と名前も、もっと覚えていきたいです。



▲ペープサートの様子

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）



あおやぎ ひると  
青柳 仁人

江府中学校に派遣されることになりましたので、学校図書館の役割について実地で学習中です。昔は、読書活動推進が主な役割でしたが、最近では、調べ学習などを通し、生徒が学校教育を終えた後も、公共図書館で「深い学び」ができるように教育する場になったようです。まずは、役割に合った本を購入するようがんばります。



▲江府中学校図書館

ジビエ活用コーディネーター（活動内容：獣肉の解体処理技術の継承、商品開発など）



みむら あすみ  
三村 明日海

奥大山地美恵に着任してから3か月、様々な勉強をさせていただきました。肉の解体処理に事務、納品、衛生管理の徹底まで、奥大山地美恵の運営に大事なことを身に付けております。私一人で出来ることは少ないですが、周りの方々に積極的に質問したり力をお貸しいただいたりして目の前の課題を1つずつ越えていきたいです。



▲解体処理の様子